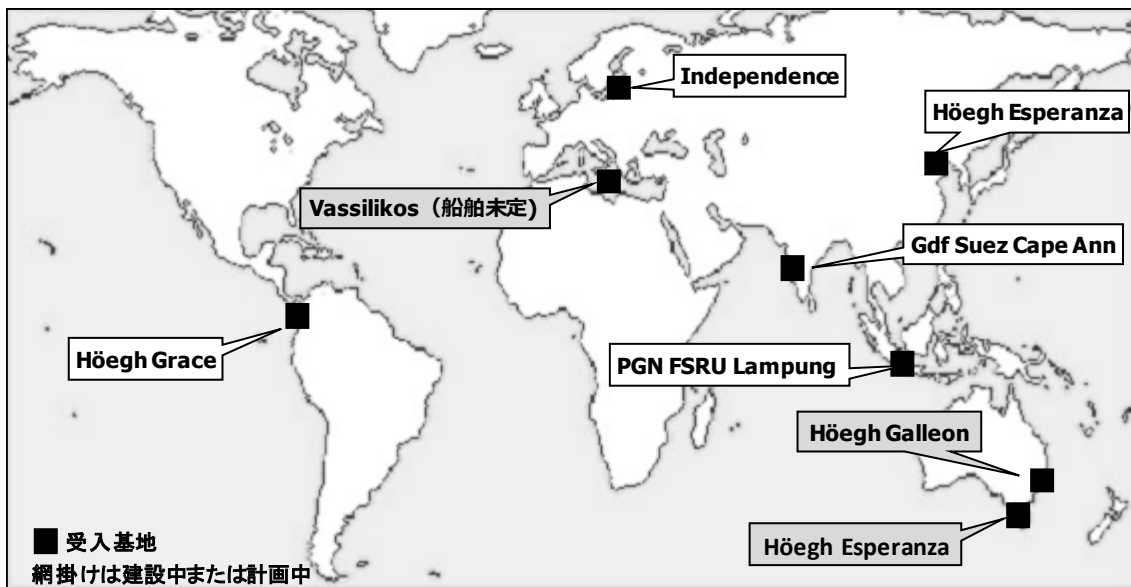


## 39. Höegh LNG

### (1) 企業概要

Höegh LNG は、ノルウェーの海運会社 Leif Höegh & Co の LNG 輸送事業子会社として 2006 年に設立された。ノルウェーのオスロに本社を置き、1973 年に就航した Norman Lady の運航を皮切りに 40 年以上の LNG 輸送事業の実績を有する。LNG 輸送、気化、受入基地、船舶管理サービスを提供する。近年は特に、自社所有の浮体式貯蔵気化設備 (FSRU) を利用した LNG の洋上気化事業に注力しており、浮体式 LNG 設備の業界リーダーを目指す。

Höegh LNG が関与する LNG 受入基地 (FSRU) 図



### (2) LNG 関連

Höegh LNG は、2020 年 8 月時点で FSRU 10 隻を含む 12 隻の LNG 船を保有しており、世界最大の FSRU サプライヤーである。2019 年 8 月には 10 隻目の FSRU となる Höegh Galleon が竣工、2019 年 9 月から Cheniere Market International と 18 ヶ月の傭船契約を締結しており、契約満了後はオーストラリア AIE の Port Kembla での FSRU プロジェクトに配置予定である。2018 年 12 月には、AGL Energy と 10 年間の FSRU 傭船契約の締結を発表している。AGL が計画するオーストラリア Crib Point に、現在 CNOOC が短期傭船中の Höegh Esperanza を配船する予定となっており、2022 年の稼働開始を目指す。2020 年 3 月にはアジアの商社と、2020 年中頃から 7 か月の短期傭船契約を締結した。2020 年前半に既存契約が満了する Gannet または Gallant を配置する。これにより 2020 年の船団利用率は約 92%となる。

2020 年 4 月、Höegh LNG はキプロスでの FSRU 開発操業権を獲得した。キプロス Vassilikos 港付近に既存の棧橋を活用した FSRU を設置、近接する発電所に天然ガスを供

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

給する計画である。2021 年前半の LNG 輸入開始を目指す。また、First Gen がフィリピン Batangas で計画する FSRU の提供候補企業の 1 つとなっている。Batangas の天然ガス火力発電所および産業需要家に供給するガスを輸入する計画で、2022 年第 3 四半期までの導入を目指している。これ以外にも南米、インドでも新たな FSRU 供給候補企業となっている。

#### Höegh LNG が運航する LNG 船 (2019 年 12 月 31 日時点)

船名	建造年	積載量(m3)	現在の備船者	備船契約
Arctic Lady	2006年	147,208	Total	2026年までのリース契約 (最長10年間延長オプション付き)
Arctic Princess	2006年	147,208	Equinor	2026年までのリース契約 (最長10年間延長オプション付き)
Neptune (FSRU)	2009年	145,130	Total	2029年までのリース契約 (最長10年間延長オプション付き)
Gdf Suez Cape Ann (FSRU)	2009年	145,130	Total	2030年までのリース契約 (最長10年間延長オプション付き)
PGN FSRU Lampung (FSRU)	2014年	170,132	PT PGN LNG Indonesia	2034年までのリース契約 (最長10年間延長オプション付き)
Independence (FSRU)	2014年	170,132	Klaipedos Nafta	2024年までのリース契約
Höegh Gallant (FSRU)	2014年	170,051	Clearlake Shipping	20ヶ月の短期備船 2020年4月まで (60日間延長オプション付き LNG船として)
Höegh Grace (FSRU)	2015年	170,032	Sociedad Portuaria El Cayao	2036年までのリース契約
Höegh Giant (FSRU)	2017年	170,032	Naturgy	2021年までのリース契約 (1年間延長オプション付き LNG船として※)
Höegh Esperanza (FSRU)	2018年	170,032	CNOOC	2021年までのリース契約 (1年間延長オプション付き)
Höegh Gannet (FSRU)	2018年	170,000	Naturgy	15ヶ月の短期備船 2020年3月まで (LNG船として)
Höegh Galleon (FSRU)	2019年	170,000	Cheniere	18ヶ月の短期備船 2021年3月まで (LNG船として)

※FSRUとしての利用も可能となるオプション付き

#### (3) 今後の戦略

Höegh LNG は、FSRU ビジネスを発展、成長させ、特に大型の FSRU を主力商材とし、関連するインフラストラクチャー開発を含めたサービスを提供する。現在短期契約で LNG 船として使用されている FSRU を全て本来の目的である LNG 受入・気化プロジェクトで、信頼できる相手との長期契約を結ぶことを目指す。

環境問題にも注力しており、Getting to Zero Coalition、NCE Maritime CleanTech に参加、2030 年までに最初のゼロエミッション船舶の開発、水素、アンモニア燃料インフラビジネスの開発を目指す。